

平成23年度共同研究の概要（成果報告書抜粋）

研究種目：研究集会

研究代表者：大槻 恭一（九州大学 大学院農学研究院・教授）

研究分担者：鹿島 薫（九州大学理学研究院・准教授）、北野 雅治（九州大学農学研究院・教授）、木村 玲二（鳥取大学乾燥地研究センター・准教授）、恒川 篤史（鳥取大学乾燥地研究センター・教授）、篠田 雅人（鳥取大学乾燥地研究センター・教授）

研究題目（和文）：

東アジアにおける乾燥地と砂漠化に関する公開シンポジウム

研究概要（和文）：

九州大学東アジア環境研究機構・鳥取大学乾燥地研究センター学術交流協定締結記念
合同イベント『乾いた大地 砂漠～黄砂のふるさと～』

九州大学東アジア環境研究機構および鳥取大学乾燥地研究センターは、東アジア乾燥地域の自然・歴史・文化・社会に深く根ざした環境問題の総合的な解決に向けて、組織的連携と共同研究の促進を実現するために、2012年2月28日に学術交流協定を締結した。両機関は、本協定に基づいて、乾燥地域の環境問題に関するシンポジウム等の共催、人的交流、共同研究、情報交換等を行う。この学術交流協定締結を記念して、「黄砂のふるさと」に焦点を当て、砂漠化問題への取り組みと黄砂研究の最前線を福岡県民に紹介した。

日時：2012年2月28日（火）12:00~20:00、2月29日（水）9:30~19:00

場所：JR博多シティ10階会議室（福岡市博多区博多駅中央街1番1号）

参加者：??名

特別講演

(1) 砂漠化にとりくむ 2月28日（火）17:30~19:00]

- ・山中 典和（鳥大教授） 「乾燥地の砂漠化と緑化」
- ・辻本 壽（鳥大教授） 「野生の力で次世代作物を作り出す」
- ・多田内 修（九大教授） 「乾燥地の緑化をささえる訪花性昆虫類」

(2) 黄砂のふるさと 2月29日（水）17:30~19:00]

- ・篠田 雅人（鳥大教授） 「黄砂のふるさとを旅する」
- ・鹿島 薫（九大准教授） 「さまよえる湖と変わりゆく砂漠」
- ・佐藤 廉也（九大准教授） 「史上最大の植林プロジェクトと黄土高原農村のゆくえ」

展示体験コーナー

(1) 展示コーナー

- ・ゲル（モンゴルの移動住居）や乾燥地の道具などを展示
- ・黄砂について発生源の話題を中心に解説
- ・乾燥地や砂漠化防止の取り組みを紹介

- ・乾燥地に関する写真や映像を展示・上映

(2) 体験・学習コーナー

- ・顕微鏡で砂漠の砂を観察
- ・乾燥地の民族衣装を試着体験
- ・鳥取砂丘の砂や色砂を使って砂時計、砂絵を作成
- ・クイズラリー